横浜市西部地域療育センター

令和4年度事業報告書

令和5年8月1日提出

指定管理者 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

〇基本情報

							_		
担当区域	保土ケ谷[<u>×</u>	旭区		瀬谷区				
担当区域人口	56	9,850	人(うち0~5歳	閱	21,612 人	、)※令	3和5年1月1日現	在 人口	コ動態統計による
職員数	計	65	人						
(職種別内訳)	医師(所長)	1	栄養士	1	児童指導員	8	作業療法士	2	
	管理課長	1	運転手	_	保育士	24	言語聴覚士	2	
※常勤職員の人数	園長	1	ソーシャルワーカー	8	臨床心理士	5	看護師	3	
	事務	2	保健師	0	理学療法士	3	検査技師	1	
	学校支援担当	2	児童発達支援管理責任者	1					

1 センター利用申込数

	申込数
未就学児	716件
学 齢 児	187件
計	903件

2 相談対応

	電話によるもの	面接によるもの
未就学児	2,943件	991件
学齢児	1,140件	340件
計	4,083件	1,331件

3 地域サービス等

/	(1) 療育相談	4か月児	見療育相談	1歳6か月児療育相談				
	1) 惊目怕談	実施回数	のべ対応人数	実施回数	のべ対応人数			
	保土ケ谷区	11	30	3	4			
	旭区	12	48	2	2			
	瀬谷区	12	40	2	2			
	計	35	118	7	8			
				のべ訪問	引回数 のべ訪問職員			
		幺	力稚園	51	59			
		货	保育所	13	4 160			

		のべ訪問回数	のべ訪問職員数	当度訪問実施個所数
	幼稚園	51	59	36
	保育所	134	160	86
(2) 巡回訪問	地域訓練会	3	5	3
	小学校	31	42	23
	その他	16	22	3
	計	235	288	151
		·	_	

係機 関 支援 3区保育所からの依頼で、初任者向けに「3区合同障害児保育研修」を開催し、発達障害の基礎 知識と療育センターとの連携についてレクチャーを行いました。(ZOOM活用)

巡回訪問以外の 担当各区の自立支援協議会について、療育専門機関として代表者会議や専門部会に参加しまし た。旭区からの依頼で、「インクルーシブ保育研修」として、日々の保育場面を切り取った写真を もとにオンラインでグループディスカッションを行いました。

		実施回数	当年度実施実学校数
	コンサルテーション	16	15
(3) 学校支援事業	研修	0	0
	コンサルテーション及び研修	0	0
	計	16	15

4 診療所

=A == 11 N0		¥ 10	-	_	765	111	224 JFA 1-	, ,			_	=1	H-00	46	0 111	1
診療件数	未就学		年間		,798	_	学齢児	_		,331 件	-	<u>計</u>	年間	10,12		
診療実人数	未就学	学児 :	年間		,112		学齢児		間	552 人		計	年間	1,66	4 人	İ
					未就学児		学樹				計					
				新	規	再来	_	規	再来	新規	. 再	来				
	児童制	情神科	4	()	0		0	0	0		0				
	小児	神経科	4	()	0		0	0	0	-	0				
	リハヒ゛リ	ノテーショ	ン科	2	2	129		0	80	2	2	09				
診 察 件 数	小児和	科		3	7	111	ı	0	18	37	1	29				
10 末 11 級	耳鼻	因喉科	‡	10	07	18	-	0	1	107	1	19				
	摂食统	来机		()	60		0	12	0	7	72				
	補装具	具外茅	₹	()	230)	0	149	0	3	79				
	発達制	精神科	4	37	76	592	. 9	7	682	473	1,2	274				
	その作	也		()	0		0	0	0		0				
		計		52	22	1,14	0 9	7	942	619	2,0	082				
					未京	忧学児	学齢	児	計							
	理学组	療法			2,	110	67	7	2,787							
	作業組	療法			7	796	18	4	980							
	言語	療法			1,	355	19	6	1,551							
	聴力	検査			2	247	13	3	260							
機能訓練・検査等	心理组	療法			1,	728	44	5	2,173							
	ゔ	ち心理	里検査	:	5	537	23	4	771							
	脳波	検査				38	8		46							
	脳波耳	徳力杉	査			6	0		6							
	その作	也の楨				71	21		92							
	栄養技	指導				36	0		36							
補装具・車椅子クリニック		頻度・	·曜日	等	原貝	刂月3~	-4回 :	第1・3	3・4・5金	曜日(4	(MA					
					-		月間、 頻			·						
	①やっ	てみ。	よう!	の教	室(4	ASD中	心、2カ	、月、	 週1、年 ¹	4Gr)	②つば	。 め(AS	D中心、	、12か月	1、月1	回、年1Gr)
外来グループ																1回、年2Gr)
									れもん(<u>)</u>							
	4/1	5/1	6/	_	7/1	8/1	9/1		1 11/1	T	_	2/1	3/1	4/1		
未就学児	413	445	464	+	174	490	499	521	+	563	575	585	597	609		
学齢児	262	268	273	-	276	296	299	306		320	332	341	344	350		
計	675	713	737	+	750	786	798	827		883	907	926	941	959		
	4月	5月	6月	_	7月	8月	9月	10 <i>F</i>		12月	1月	2月	3月	- 30		
未就学児	7.1	6.9	6.8	_	6.3	4.4	7.0	7.6	-	6.7	7.7	8.7	8.2			
学齢児	6.9	7.5	7.2		8.0	7.5	8.2	9.5		11.0	9.3	10.2	10.7			
T MIJU	0.9	7.0	1.2		0.0	7.0	0.2	J.J	0.0	11.0	0.0	10.2	10.7	ļ		

※精神発達系のみ ※初診待ち期間は、各月に初診を行った児 童についての初診申込みから初診までの期 間の平均

5 児童発達支援センター(児童発達支援・医療型児童発達支援)

在籍児童数	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/	1 11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	平均	
児童発達支援	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	
医療型児童発 達支援	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
計	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	
設置クラス数	週5日久	フラス	週4日クラ	5ス 週3	日クラス	週2日往	クラス	週1日クラ	ス 隔退	見クラス	計			-
児童発達支援	3		0		5	5		2		2	17	'		
医療型児童発 達支援	1		0		1	0		0		0	2			
計	4		0		6	5		2		2	19)		
年間開所日数	2	11	日								※設置	クラス	数は令	和5年3月1日現在
通所設定数	年間(のべ	10,441	人	日									
療育時間	9	時	50 :	分 ~	14	時	0	分						

6 早期療育科(該当のセンターのみ)

在籍児童数	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	平均
早期療育科													0
クラス数													0
設置クラス数													
療育時間		時	5	〉 ~		時	5	宁					

[※]早期療育科は南部、中部、東部のみ

7 児童発達支援事業所

在籍児童数	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	平均
児童発達支援	64	65	65	65	65	66	66	66	66	66	66	66	66
クラス数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
設置クラス数	週1日	クラス	月2回クラ	ス	計								
改画グラへ奴	10		1		11	※設	置クラ	ス数は	令和5年	E3月1	日現在		
通所設定数	年間0	りべ	1,887	人・	日								
療育時間	9	時	30 /	} ~	12	時	0 5	分					

8 障害児相談支援

	計画作成	モニタリング
未就学児	187件	364件
学齢児	0件	0件
計	187件	364件

9 保育所等訪問支援

	のべ訪問回数	のべ訪問職員数
幼稚園	0	0
保育所	0	0
その他	0	0
計	0	0

10 運営協議会の開催

11 自主事業等(地域ニーズを含む)

概要・実績 (地域ニーズ対応事業)

精神系幼児の利用申込数が依然として増加傾向にある中、受診後その後の心理評価や継続的な支援を行う二次支援の体制整備も必要となっていることから、一次支援を利用する本人支援(発達評価・発達支援)、家族への支援の継続的なフォローの充実を目的に、週3心理士の非常勤を雇用し、サービスの拡充を図りました。あわせて一次支援の心理士相談に常勤心理士が対応する件数をさらに増やすことで、サービスの充実を図りました。

12 施設の管理状況、施設点検の実施状況等

主な備品購入	なし
主な修繕	なし
法定点検業務等	非常用自家発電設備(年2回)、消防設備(年2回)、自家用電気工作物(年6回隔月)ほかの法定点検を行った。
保守管理業務等	エレベーター設備(月1回)、自動ドア設備(年4回)、機械式立体駐車場装置(年4回)ほかの自主点検を行った。
外部委託	給食調理業務、通園バス運行等業務、クリーニング業務等を外部委託により実施した。
その他	

13 収支決算

		決算額	備考
収入	指定管理料収入	438,620,971	精算後の確定額
	診療所収入	46,017,627	
	児童発達支援収入	120,861,530	給付費等の収入を含む
	障害児相談支援収入	9,437,464	
	保育所等訪問支援支援収入	0	
	その他収入	3,836,462	預金利息、実習生謝金等(物価高騰対応支援金含む)
			過年度剰余金等の充当
	計	618,774,054	
支出	人件費	494,581,205	常勤職員、嘱託医師及び非常勤職員の人件費
	八計員	1,208,494	うち法人又はセンター独自に配置した職員の人件費
	事業費	8,632,442	給食費、日常諸費、修学費等
	管理費	108,560,153	光熱水費、建物・設備管理費、業務委託費(給食調理、バス運行等)等
	事務費等	8,010,962	旅費、その他の一般事務費等
	その他支出		法人又はセンターの取組に係る支出
	計	619,784,762	
	差引①	△ 1,010,708	収入一支出
差 引②		△ 3,638,676	収入一支出(ただし、その他収入のうち過年度剰余金等の充当及び法人又はセンター独自に配置した職員の人件費、その他支出を除く)

14 自己評価

実施方法
及び結果

職員、利用者それぞれによる評価を集約し、分析を行いました。今年度もコロナ感染防止対策を実施しながらの集団療育となりましたが、Withコロナの考え方の中、プログラムを工夫し、お子さんの発達に応じた対応を試行錯誤のうえ実施できました。保護者支援に関しても個別の相談や保護者教室等実施し支援を行っていますが、今年度も親の会の活動は難しく、保護者同士の交流の場の設定は十分にできませんでした。 ※令和4年度「事業所自己評価シート」を、次のホームページに記載しています。 http://www.yokohama-rf.jp/facilities/chiiki.html